

感動

～感じて（考えて）動く～

飯豊中学校 第3学年通信

NO. 30 R2. 10. 16(金)

文責：小林豊和

息を合わせる

「息」のつく言葉を辞書で探しました。

「息合い」「息入れ」「息苦しい」「息籠る」「息急切る」「息杖」「息づかい」「息継ぎ」「息詰まり」「息抜き」「息根」「息の緒」「息の下」「息張る」「息巻く」「息み」「息休め」たくさんの言葉があります。

「息」を含む文もこんなにありました。

「息が合う」「息がかかる」「息が通う」「息が切れる」「息が絶える」「息が続く」「息が詰まる」「息がはずむ」「息を入れる」「息を凝らす」「息を殺す」「息をつく」「息を継ぐ」「息を詰める」「息を抜く」「息をのむ」「息をはかりに」「息を引き取る」「息を吹き返す」

息は生きているものがするので、生死に関わることを表すことが多いです。

そして、人間の気持ち、自分と他人との関係を表したものもあります。

「息が合う」

互いの気持ちがぴったり一つになる、
という意味です。

いま、みんなは合唱練習をしています。合唱で息継ぎがぴたっと合わさったとき、まさに「息が合い」ます。そのとき、本当の意味で「息が合う」、すなわち気持ちがぴったりと一つになるのです。

「息が合う」ために必要なことは、自分のことだけを考えるのではなく、みんなのことを考えるということです。



「恥ずかしい」「他の人が歌ってくれる」そういう自分に対する甘えの気持ちを捨てるのです。「息のぴったり合った」合唱を聞かせてください。

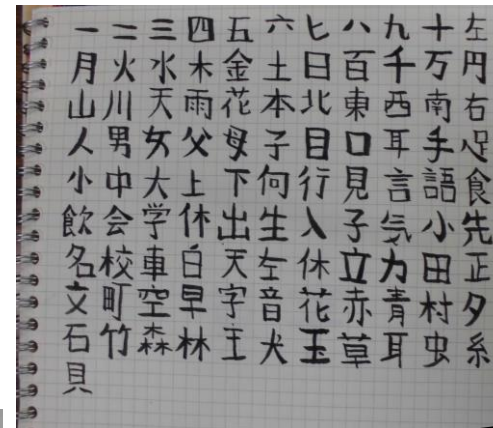
そのためにも、**【本気】**で練習に向き合ってください。

今週から、本格的に合唱練習がスタートしました。

一人ひとりが「マウスシールド」を着用し、合唱練習に取り組んでいます。



フライアン先生を見習おう！



左の漢字は、ALTのフライアン先生が書いた「漢字」です。フライアン先生は、フィリピン出身ですが、授業の合間に一生懸命ひらがなや漢字を勉強しています。本当に頭が下がる思いです。本物の勉強の姿がそこにはあります。誰に対してもいつも「笑顔」で対応し、人として素晴らしい人です。

今先生から、山形の「方言」も習っています。今では、

- ・さすけね～
 - ・腹くちち～
- といった言葉も巧みに使いこなす達人です。



フライアン先生は毎日毎日「こつこつ」と継続しています。日本語の習得や笑顔での対応を。フライアン先生のように頑張っている人や人柄が素敵な人を応援したい！とわたしは思います。故郷を離れ、遠い日本で日々自分を高めようとしているフライアン先生を見習い、わたしも自分を高めたいと思う日々です。

才能の差は
小さい
努力の差は
大きい
継続の差は
ぶっと大きい